



蒜山高等学校新聞

蒜高タイムズ

第84号

毎月25日発行

H23. 2. 25

蒜山高校 教務課

Tel:66-2016

hiruzen07@pref.okayama.jp

表彰式・壮行式(二月二十二日)

スキー部 年生小椋寛君の県大会での活躍を讃えるとともに、全国大会での活躍を期待して、表彰式が行われました。県大会での成績は次の通りです。

- 第49回岡山県高等学校総合体育大会岡山県予選会スキー競技
 - 男子クロスカントリー(15kmフリー)第一位
 - 男子クロスカントリー(10kmクラシカル)第二位
- 第66回国民体育大会スキー競技会岡山県予選会
 - 少年男子クロスカントリー(10kmクラシカル)第一位
- 第52回中国高等学校スキー選手権大会
 - 男子クロスカントリー(15kmフリー)第五位
 - 男子クロスカントリー(10kmクラシカル)第四位
- 男子総合部 県立蒜山高校 第五位



壮行式では校長先生が、「小椋君は蒜山高校の代表、岡山県の代表としてインターハイ・国体冬季大会に出場します。入学以来クロスカントリー一筋で頑張っています。クロスカントリーという競技は自分との闘いです。それにひたすら耐えてきました。片山先生という優れた指導者のもと、日頃の練習の成果を十分に発揮してほしいと思います。我が校から岡山県代表を出すというのは非常に素晴らしいことです。きつと素晴らしいパフォーマンスを見せてくれることと思います。また、片山先生も岡山県代表選手として出場します。二人にはぜひ頑張ってきてほしいと思います。」と激励してくださいました。続いて、生徒会長の井藤翔太君が、「インターハイ出場おめでとうございます。同じ教室で学校生活を送っていて、彼の頑張りを間近に見ている、感心させられるとともに、自分も頑張ろうという気持ちももっています。本当に自分のことのように嬉しく、また誇らしく思います。みんなの応援をフレッシャーに感じることもなく、多くの期待を力に変えて頑張ってきてください。」とエールを送ってくださいました。小椋寛君も「夏の間の練習の成果を發揮して、自分の滑りをして、蒜山高校の名を全国に知ってもらいたい。」と力強く答えました。小椋寛君は二月三日から岩手県で開催されます、第60回全国高等学校スキー大会に出場します。

平成三十二年卒業生へ、生方からメッセージをいただきました。

「真心をもって人を助ければ、必ず自分も人から助けられる。これは人生のもっとも美しい補償の一つである。これは米国の詩人エマーソンの言葉です。人に何かを求めるのではなく、自ら進んで人のために何かをする。こうすることで人と人の良好な関係が作っていくのだと思います。皆さん一人一人が幸せな人生を送れますように、心からお祈りします。猪木晴一

「偉大なものはすべて単純である。この二十年間、同じ言葉を卒業生のみならずに贈り続けています。いかなる偉業も解いてみれば、意外と単純なものからできあがっているものです。いつでもどこでも、だれにでもできることを軽んじることなく前進してください。藤川靖人

「卒業おめでとうございます。これまでの出会いを温め、これからの様々な出会いを大切にしてください。」一言責志

三年間 私にとって宝物のような三年間でした。元気で素直な皆さんの姿を見ながら、私は元気をもらっていました。これからもその元気を素直に周りの人たちに元気を配ってあげられるように頑張りたいと思います。若田俊之

進路先は卒業する。就職したら、その職場で三年以上働く。そこで少しずつ気が入らないことがあっても、我慢する。弱音を吐いてはいけない。逃げるな。最初はつらいことが多い。でも、つらければ続ける。楽しいことができてくる。それまでは我慢。学校を

出て 仕事を3年以上続けたら 新しく自分になれる。困難を一つずつ乗り越えて 少しずつ強くなれ。裾園佑司

卒業おめでとう。これまでの人間関係は、予め用意されていた限定的な環境の中で作られたものだったと思ふ。これからの人間関係は、自分から進んで築いていかなければならないものだと思う。相手に対して思いやりがあって、誠実で、行動力にあふれる人間は、素晴らしい人間関係を築けるだろう。君たちはそういう人間であって欲しい。藤田雅和

「人間は一生成長し続ける存在である」と私は信じています。たまには悩んでも立ち止まったりしてもいいです。それぞれの道で、向上心を持ち続けてほしいです。もちろん私も皆さんに会ったときに成長した姿を見てもう一度頑張ります。稲岡未来子

一年間 「蒜山高校生」は3年間でアツクという間だったと思います。しかし「これからはずっと、何十年経っても「蒜山高校卒業生」です。この3年間で得たものと蒜高魂を胸に、活躍を期待しています。橋本英俊

卒業おめでとうございます。蒜山はまだ白い雪に覆われていますが、先日、生家の近くにある神社で春を見つけました。巡る季節の輝かしい始まりの時です。社会事情はまだまだ冬の時代が続くかもしれませんが、きみらは春のように輝かしく、胸ときめかせて羽ばたいてください。植田恭正

卒業おめでとうございます。高校を卒業すると、導いてくれる人が少なくなります。自分でよく考え、よく学び、行動してください。自分の行動に自分で責任をとることができて、やっと一人前になれるのではないかと思います。何かにぶつかっても、くじけずに頑張ってください。応援しています。川上真紀子

一年間 苦しくても辛くてもすぐに投げ出しはけない。耐え忍び、巡ってくるチャンスをものにできるように力を磨くべし。皆さんの活躍を期待しています。卒業おめでとう。片山輝幸

「この三年間で、できることは増えたり、諦めていたことにももう一度チャレンジした。投げ出さないうえに姿勢が身についた。言い訳をしない自分になれた。これほど些細な変化であっても、その変化は成長です。皆さんの中に起こった変化を決して退化させることのないよう、これからも前進していきましょう。現実から逃げず、謙虚な姿勢で努力し続けられ、助けてくれる人はきつと現れます。卒業おめでとう。林原直子

大切なのは「変えられるものを変える勇気、変えられないものを受け入れる心」。その二つを決して見失わない洞察力。今後のみんなの活躍を期待しています。木村哲也

どんなときも自分自身を大切に。そうすれば自然と自分の周りも大切にできるはず。皆さんの活躍を期待しています。中島裕一

皆さんの存在が、その笑顔が、そしてその成長が、どれだけ私を支えてくれたことでしょうか。本当にありがとうございました。また、お会いできるのを楽しみにしています。お元気で！ 水本美由紀

学生時代の仲間、きつと一生の友達になるでしょう。卒業後もクラスの仲間との関係を大切にしてください。柚木沙太。あたりまえのことがあたりまえでなくなった時にそのありがたさに気がきます。だから、あたりまえの毎日があることはしあわせなことだと思つて、普段から、あたりまえのこと「ちよつとでも感謝できる人になつてください」。先生はみんなと出会って一緒に過ごせたことに感謝しています。卒業おめでとう。野島 真由美

希望を叶えるため・・・日々の時間を、その準備に費やすことを惜しまないでください。そして自分の人生を最高に旅してください。心より願っています。卒業おめでとう。佐藤 優子

卒業おめでとうございます。人間人生八〇年。皆さんには、まだ四分の三残っています。最後に「まったくいい人生だった！そんな風に笑って言えるような人生をおくってください。竹内 聡

人と比べて良い事などありません。人と比べず、どんな自分でも受け入れて認めることが必要です。今後の皆さんの活躍を期待しています。財原拓也



卒業おめでとう!!!

- 2月の予定
 - 28日学校賞表彰、卒業式予行
- 3月の予定
 - 1日卒業式
 - 2日学年末考査1・2年生
 - 18日終業式